

(株)トーカイ

岐阜市・サービス業

従業員数 / 男性1,903名 女性2,401名 計4,304名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ①26歳から39歳までの全女性社員を対象とした継続的なキャリア研修会を実施
- ②保育料や一時預かり、延長保育、病児・病後児保育利用料の補助制度を導入
- ③ノー残業デーや勤務間インターバル制度の導入により所定外労働を削減



土田のぞみさん(写真右)は2人の子どもの出産を終って職場に復帰。

仕事と家庭、双方の充実を

従業員の所定外労働時間削減に取り組むトーカイ。人事部労務衛生課の厚見智美さん(認定当時)は「残業時間が長い従業員を把握し、早く帰るよう促している」とし、月45時間を超える残業が続く従業員から、労働環境を聞き取るなど、改善に尽力する。

また並行して、2006年から半日年休を導入するなど、年休取得を促進。14年からは、夏季における計画的な有給休暇取得に向けて、各部署で有給休暇計画表を作成し、取得率を約80%まで上昇させた。こうした取り組みが、効率的な仕事や休みを取りやすい雰囲気につながっている。

育児中のサポートも手厚い。執行役員人事部長の高木伸二さん(認定当時)は「育休中も会社の情報を提供し、復帰後のキャリアを考えるセミナーを開いている」と話す。育児短時間勤務制度は中学入学前まで利用することができ、営業企画部係長の立川幸枝さんは「子どもの送迎や家事に余裕ができた」と感謝している。他にも、休日出勤等に

よる一時預かり等の利用料補助や、第2子までは月4千円を上限、第3子以降は保育料を全額補助するなど、手厚い支援を行っている。

女性の職域拡大にも前向きだ。男性579人に対し16人のみだった女性営業職に、15年から10人の新卒を採用。女性対象の研修会や女性20人による商品開発チーム「リースキン商品女性座談会」を設置し、女性の活躍に期待を寄せている。



立川幸枝さん(写真右)は育児短時間勤務制度を活用しながら働く。